

普及活動情勢報告（令和8年3月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

安全で楽しい直販所のために ～蕘生の里栽培講習会～



栽培講習会の様子

2月18日、協同組合「蕘生の里」主催による栽培講習会がJA高知県香北支所において開催され、組合員20名が参加しました。

農業改良普及課は、野菜の保管方法と農作業安全、農薬適正使用について話しました。組合員の高齢化が進んでいることから、特に熱中症対策について注意を呼びかけました。

参加者からは、野菜の冷蔵温度について質問があるなど、熱心さが伝わりました。

農業改良普及課は、今後も楽しい農作業を通じた直販所の出荷安定に取り組んでいきます。

産地課題の解決を目指して！ ～シシトウ包装機械導入に向けた協議～



包装試験動画を見せながら説明する普及指導員

2月18～20日、南国市のシシトウ4部会（中央、南部、長岡、十市）で、包装機械導入に向けた協議が行われ、生産者計39名が参加しました。

JAは、導入スケジュールや負担経費、今後の部会の在り方等について説明しました。農業改良普及課は、機械化をイメージしやすいように包装試験動画を用いて作業工程や処理速度の説明をしました。

生産者からは「詳細なコストが見えないと判断が難しい」との意見も出ましたが、最終的に4部会が令和8年度に事業を活用し、包装機械を導入することで合意しました。

農業改良普及課は関係機関と連携し、今後も円滑な導入・運用に向けた支援を継続します。

1年間の営農をふりかえり ～新規就農者（シシトウ等）の状況確認～



チェックリストを活用して就農状況を確認

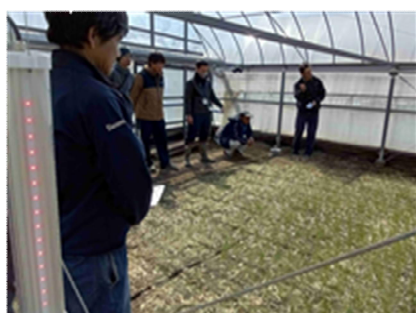
3月11、12日、新規就農者の巡回を行いました。

巡回は、市担当者、JA高知県営農指導員、農業改良普及課の各品目担当及び経営・担い手担当で役割分担して、新規就農者9名の栽培や経営の状況を確認し、改善に向けた助言指導を行いました。

新規就農者からは「前作は収量が増えたことに加えて、単価が良かったこともあり、所得が増えた」「ほ場が乾燥気味になり、うどんこ病が発生してしまったので、前作より1割くらい減収になりそう」等の声がありました。

農業改良普及課では、今後も関係機関と協力して、新規就農者の経営状況・課題を把握し、サポートを続けます。

赤色 LED によるネギアザミウマ防除の成果発表会 ～グリーンな栽培体系への転換サポート事業～



現地で説明を熱心に聞く
小ネギ生産者

3月13日、グリーンな栽培体系への転換サポート事業を活用した赤色 LED 実証試験の成果発表会を実証ほ場で開催し、香美・土長地区の小ネギ生産者10名が参加しました。農業改良普及課は、実証概要及び赤色 LED 導入後のポイントとなる防虫ネットの併用や初期防除の重要性について説明しました。実証農家からは、試験結果の報告と実証試験の感想として「食害の軽減を実感した」などの話がありました。参加者からは「赤色 LED 等の最新技術を今後も地域の垣根を越えて検討していきたい」といった声が聞かれました。農業改良普及課は、今後も香美・土長地区の小ネギ生産を支援していきます。

危機管理意識を高めよう！ ～青年農業士中央東ブロック協議会～



農作業事故の VR 体験の様子

3月18日、青年農業士中央東ブロック協議会総会及び研修会が中央東農業振興センターで開催され、青年農業士14名が出席しました。総会では、本年度の活動実績及び次年度の事業計画を協議しました。研修会では、JA共済連の職員を講師として迎え、「農作業事故」をテーマにVR体験も交えて実施しました。農業改良普及課は、研修会内容の提案、講師の選定及び調整等を行いました。青年農業士からは「機械操作の中に危険が多く潜んでいることが実感出来た」「安全確認を第一に作業していく」などの声が聞かれ、危機管理意識の向上につながりました。農業改良普及課は、今後も地域の中核的農業経営者として期待される青年農業士の活動を支援していきます。

黄化えそ病対策で増収を目指して ～きゅうり実証試験～



調査の様子

管内で深刻な被害を及ぼしている「きゅうり黄化えそ病」の対策として、農業改良普及課はJAと連携し実証試験を行っています。本試験では、媒介虫であるミナミキイロアザミウマの侵入を防ぐため、目合いの細かい防虫ネットを活用や、定期的な薬剤防除と天敵活用を実施しています。その結果、2月末時点で発病株が大幅に減少し、前年より31%増収しています。実証農家からは「ネットが細かくてもハウス内温度に影響はなく、黄化えそ病が減り、増収できておりとてもよい」との声が聞かれました。農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して、農家の収量・品質の向上を支援していきます。

